

対象校No. 1084
注4

2月6日現在差替版
学校コード F226310107796
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 短大の学科の設置
注1

認可

注2
京都光華女子大学 短期大学部 歯科衛生学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人光華女子学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長戦略推進部
職名・氏名	フィン ミワ サトシ 部員 三輪 悟士
電話番号	075-325-5312
(夜間)	075-325-5312
e-mail	js@mail.koka.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

短期大学部

＜歯科衛生学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 光華女子学園

(2) 大学名

京都光華女子大学短期大学部

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-0882

京都府京都市右京区西京極葛野町38番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アベ ヤスキ) 阿部 恵木 (令和元年7月)		
学長	(タカミ シゲル) 高見 茂 (平成31年4月)		
学部長	(イノウエ トミオ) 井上 富雄 (令和6年4月)		
学科長等	(イノウエ トミオ) 井上 富雄 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
短期大学部 歯科衛生学科 短期大学士(歯)	歯学関係	3年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 -人	210人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-				
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-				
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	-				
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	-				
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.72	-		0.72倍	倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	人	人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	51人	0人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{51} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<短期大学部 歯科衛生学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間と生活	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								2
	仏教の人間観Ⅱ	1後		2							1
	京都光華の学び	1前	1								3
	基礎ゼミ	1前	1			1		2	1		
	医療英語	2前	1								1
	プレゼンテーション	2前	1			1					
	データサイエンス入門	1後	1								2
	カウンセリング理論	2後		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	小計(9科目)	-	7	6	0	2		2	1		10
考科の学	生命科学の基礎	1前	2			1					
	小計(1科目)	-	2	0	0	1					
の腔人構を体	解剖学・組織発生学	1前	2								1
	生理学	1前	2			1					
	栄養学	1後	2								1
	小計(3科目)	-	6	0	0	1					2
構歯と口	口腔解剖学	1前	2								1
	口腔生理学	1後	2			1					
	生化学・口腔生化学	1後	2								1
	小計(3科目)	-	6	0	0	1					2
及疾の成	病理学・口腔病理学	1後	2								3
	微生物学・免疫学	1後	2			1		1			
	薬理学	1後	1			1					
	歯科薬理学	2前	1			1					
	小計(4科目)	-	6	0	0	2		1			3
人と歯	口腔衛生学	1前	2			1					
	公衆衛生学	1後	2			1					
	歯科医療と関係法規	3後	2								1
	保健情報統計学	3後	1								1
	小計(4科目)	-	7	0	0	1					2
歯科衛生	歯科衛生士概論	1前	2			1					
	小計(1科目)	-	2	0	0	1					
臨床歯科医学	臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)	2前	1						1		2
	臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)	2後	1								2
	臨床歯科Ⅲ(歯科補綴)	2前	1								1
	臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント)	2通	1			1			1		4
	臨床歯科Ⅴ(歯周病)	2前	1								1
	臨床歯科Ⅵ(矯正歯科)	2後	1								2
	臨床歯科Ⅶ(小児歯科)	2前	1			1					
	臨床歯科Ⅷ(高齢者)	2前	1			1					
	臨床歯科Ⅸ(障がい者)	2後	1			1					
	臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム)	3前	1			1	1	2	1		
	臨床歯科Ⅺ(口腔機能リハビリテーション)	2後	1			1					
小計(11科目)	-	11	0	0	3	1	2	3		12	
歯科予防	歯科予防処置論	1前	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅰ	1後	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅱ	2前	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅲ	2後	2			1					2
	小計(4科目)	-	11	0	0	3	1	2	3		12
歯科保健	歯科保健指導論	1前	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅰ	1後	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅱ	2前	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅲ	2後	2				1	2			
	小計(4科目)	-	8	0	0		1	2			
歯科診療	歯科診療補助論	1通	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅰ	1通	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅱ	2前	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅲ	2後	2			1	1	1	1		
	歯科放射線・臨床検査学	2前	2			1					
	小計(5科目)	-	10	0	0	2	1	1	1		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間と生活	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後		2							1
	京都光華の学び	1前	1								6
	基礎ゼミ	1前	1				2		2	1	
	医療英語	2前	1								1
	プレゼンテーション	2前	1			1					
	データサイエンス入門	1後	1								2
	カウンセリング理論	2後		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	小計(9科目)	-	7	6	0	2		2	1		10
考科の学	生命科学の基礎	1前	2			1					
	小計(1科目)	-	2	0	0	1					
の腔人構を体	解剖学・組織発生学	1前	2								1
	生理学	1前	2			1					
	栄養学	1後	2								1
	小計(3科目)	-	6	0	0	1					2
構歯と口	口腔解剖学	1前	2								1
	口腔生理学	1後	2			1				2	
	生化学・口腔生化学	1後	2								1
	小計(3科目)	-	6	0	0	1				2	2
及疾の成	病理学・口腔病理学	1後	2								2
	微生物学・免疫学	1後	2			1		1	1		
	薬理学	1後	1			1					
	歯科薬理学	2前	1			1					
	小計(4科目)	-	6	0	0	2		1	1		3
人と歯	口腔衛生学	1前	2			1					
	公衆衛生学	1後	2			1					
	歯科医療と関係法規	3後	2								1
	保健情報統計学	3後	1								1
	小計(4科目)	-	7	0	0	1					2
歯科衛生	歯科衛生士概論	1前	2			1					2
	小計(1科目)	-	2	0	0	1					2
臨床歯科医学	臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)	2前	1							1	2
	臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)	2後	1								2
	臨床歯科Ⅲ(歯科補綴)	2前	1								1
	臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント)	2通	1			1			1		4
	臨床歯科Ⅴ(歯周病)	2前	1								1
	臨床歯科Ⅵ(矯正歯科)	2後	1								2
	臨床歯科Ⅶ(小児歯科)	2前	1			1					
	臨床歯科Ⅷ(高齢者)	2前	1			1					
	臨床歯科Ⅸ(障がい者)	2後	1			1					
	臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム)	3前	1			1	1	2	1		
	臨床歯科Ⅺ(口腔機能リハビリテーション)	2後	1			1					
小計(11科目)	-	11	0	0	3	1	2	3		12	
歯科予防	歯科予防処置論	1前	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅰ	1後	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅱ	2前	2			1					2
	歯科予防処置演習Ⅲ	2後	2			1					2
	小計(4科目)	-	11	0	0	3	1	2	3		12
歯科保健	歯科保健指導論	1前	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅰ	1後	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅱ	2前	2				1	2			
	歯科保健指導演習Ⅲ	2後	2				1	2			
	小計(4科目)	-	8	0	0		1	2			
歯科診療	歯科診療補助論	1通	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅰ	1通	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅱ	2前	2			1	1	1	1		
	歯科診療補助演習Ⅲ	2後	2			1	1	1	1		
	歯科放射線・臨床検査学	2前	2			1					
	小計(5科目)	-	10	0	0	2	1	1	1		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床実習	基礎歯科実習	1後	2			3	1	3	3			
	臨床臨地実習Ⅰ	2後・3前	2			3	1	3	3			
	臨床臨地実習Ⅱ	2後・3前	4			3	1	3	3			
	地域歯科保健実習Ⅰ	3前	1			4	1	3	3			
	地域歯科保健実習Ⅱ	3通	1			4	1	3	3			
	小計(5科目)	—	20	0	0	4	1	3	3			
関連科目	歯科審美学	3前	1					1				
	看護学	2後	1							1		
	歯科衛生セミナー	3通		2		4	1	3	3			
	小計(3科目)	—	2	2	0	4	1	3	3		1	
卒業研究	卒業研究	3通	2			4	1	3	3			
	小計(1科目)	—	2	0	0	4	1	3	3			
選択必修	仏教と医療者	3前	1							1		
	専門職の連携(基礎)	1後	2					1		7		
	専門職の連携(応用)	3前		1					1	6		
	包括的ヘルスクエア論	3前		2						5		
	摂食嚥下障害学	2前		2						5		
	摂食嚥下障害学演習	2後		1						4		
	伝統文化	2・3前後		1						6		
	中国語Ⅰ	1前		1						1		
	中国語Ⅱ	1後		1						1		
	ハングルⅠ	1前		1						1		
	ハングルⅡ	1後		1						1		
	外国の大学での短期研修	1・2通		2		1						
	国際社会とジェンダー	2・3後		2						1		
	情報リテラシー	1前		1						2		
	健康の科学	1・2前後		2						1		
	食生活と健康	1・2前後		2						1		
	生涯スポーツ入門	1・2前後		2						1		
	くらしのなかの宗教	1・2後		2						1		
	小計(18科目)	—		3	24	0	1			2	1	45
	自由科目	メディカルクラークⅠ	1・2・3通			2						1
		メディカルクラークⅡ	1・2・3通			2						1
		メディカルクラーク応用	1・2・3通			1						1
		ドクターズクラークⅠ	1・2・3後			2						1
		ドクターズクラークⅡ	1・2・3後			2						1
		調剤報酬請求事務	1・2・3後			2						1
ケアクラーク		1・2・3前			2						1	
小計(7科目)	—		0	0	13						2	
合計(83科目)	—				5	1	3	3			68	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床実習	基礎歯科実習	1後	2			3	1	3	3			
	臨床臨地実習Ⅰ	2後・3前	2			3	1	3	3			
	臨床臨地実習Ⅱ	2後・3前	4			3	1	3	3			
	地域歯科保健実習Ⅰ	3前	1			4	1	3	3			
	地域歯科保健実習Ⅱ	3通	1			4	1	3	3			
	小計(5科目)	—	20	0	0	4	1	3	3			
関連科目	歯科審美学	3前	1					1				
	看護学	2後	1							1		
	歯科衛生セミナー	3通		2		4	1	3	3			
	小計(3科目)	—	2	2	0	4	1	3	3		1	
卒業研究	卒業研究	3通	2			4	1	3	3			
	小計(1科目)	—	2	0	0	4	1	3	3			
選択必修	仏教と医療者	3前	1							1		
	専門職の連携(基礎)	1後	2					1		7		
	専門職の連携(応用)	3前		1					1	6		
	包括的ヘルスクエア論	3前		2						5		
	摂食嚥下障害学	2前		2						5		
	摂食嚥下障害学演習	2後		1						4		
	伝統文化	2・3前後		1						6		
	中国語Ⅰ	1前		1						1		
	中国語Ⅱ	1後		1						1		
	ハングルⅠ	1前		1						1		
	ハングルⅡ	1後		1						1		
	外国の大学での短期研修	1・2通		2		1						
	国際社会とジェンダー	2・3後		2						1		
	情報リテラシー	1前		1						2		
	健康の科学	1・2前後		2					1	10		
	食生活と健康	1・2前後		2						1		
	生涯スポーツ入門	1・2前後		2						1		
	くらしのなかの宗教	1・2後		2						1		
	小計(18科目)	—		3	24	0	1			2	1	45
	自由科目	メディカルクラークⅠ	1・2・3通			2						1
		メディカルクラークⅡ	1・2・3通			2						1
		メディカルクラーク応用	1・2・3通			1						1
		ドクターズクラークⅠ	1・2・3後			2						1
		ドクターズクラークⅡ	1・2・3後			2						1
		調剤報酬請求事務	1・2・3後			2						1
ケアクラーク		1・2・3前			2						1	
小計(7科目)	—		0	0	13						2	
合計(83科目)	—				5	1	3	3			77	

卒業要件及び履修方法

必修科目102単位(基礎分野「カウンセリング理論」「臨床心理学」より選択必修科目2単位含む)、選択必修区分の選択科目より4単位を修得し、計106単位以上修得すること。
(履修登録上限単位数:年間48単位)

卒業要件及び履修方法

必修科目102単位(基礎分野「カウンセリング理論」「臨床心理学」より選択必修科目2単位含む)、選択必修区分の選択科目より4単位を修得し、計106単位以上修得すること。
(履修登録上限単位数:年間48単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育効果向上の理由により、「仏教の人間観Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任の配置を「3」から「6」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「基礎ゼミ」の教員配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「口腔生理学」の教員配置を「教授1」から「教授1、助教2」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「病理学・口腔病理学」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「微生物学・免疫学」の教員配置を「教授1、講師1」から「教授1、講師1、助教1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「歯科衛生士概論」の教員配置を「教授1」から「教授1、助教2」へ変更。
- ・兼任教員の退職に伴い、「専門職の連携（応用）」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「健康の科学」の教員配置を「兼任1」から「講師1、兼任・兼任10」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「選択必修区分25科目」から「選択必修区分18科目」「自由科目7科目」へ変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
56 科目	27 科目	0 科目	83 科目	56 科目 []	20 科目 [Δ7]	7 科目 [+7]	83 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講又は廃止とした授業科目がないため該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都光華女子大学大学院及び京都光華女子大学と共用(大学必要面積: 24,000㎡ 19,880㎡) 運動場用地は、校舎敷地と別地(事 約20分) 2022年11月頃、運動場用地内(大原野が「うが」に、市や国、個人所有の土地が含まれていることが発覚した(6筆:合計781.43㎡)。それを是正するため、市や国等と相談していたが、売り払いきる時期が未定という回答であった。このうち、一部の土地は、2023年度に売り払いの承諾が得られたため、2023年11月と2024年4月に土地を取得した(4筆:427.14㎡)。登記上の面積変更のため、学生の学修には一切影響はない。残りの土地(2筆:354.29㎡)については、市や個人の承諾が下り次第、土地を取得していく予定である。また、同時に本来は公共で管理する必要がある大原野が「うが」周辺の農道・水路が本学園の所有物になっていることが発覚したため、市の承諾が得れ次第、寄付の手続きを行う(減少面積:約1,697.73㎡)こちらも、登記上の面積変更のため、学生の学修には一切影響はない。		
	校舎敷地	0.00 ㎡	9,302.43 ㎡	0.00 ㎡	9,302.43 ㎡			
	運動場用地	0.00 ㎡	28,894.87 ㎡ 28,467.73 ㎡	0.00 ㎡	28,894.87 ㎡ 28,467.73 ㎡			
	小 計	0.00 ㎡	38,197.30 ㎡ 37,770.16 ㎡	0.00 ㎡	38,197.30 ㎡ 37,770.16 ㎡			
	そ の 他	0.00 ㎡	13,109.95 ㎡	0.00 ㎡	13,109.95 ㎡			
合 計	0.00 ㎡	51,307.25 ㎡ 50,880.11 ㎡	0.00 ㎡	51,307.25 ㎡ 50,880.11 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	1,643.42 ㎡	25,214.85 ㎡ 25,359.78 ㎡	11,103.96 ㎡ 11,112.36 ㎡	37,962.23 ㎡ 38,115.56 ㎡	京都光華女子大学大学院及び京都光華女子大学と共用(大学必要面積: 17,778.80㎡) 借用面積: 67㎡ 借用期間: 5年 新棟の面積を登記上の面積へ修正		
	(1,643.42 ㎡)	(25,214.85 ㎡) (25,359.78 ㎡)	(11,170.96 ㎡) (11,179.36 ㎡)	(38,029.23 ㎡) (38,182.56 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 AC対象学科の数値および用途変更等により修正	
	49室 48室		9室 42室	7室 42室	3室 6室 (補助職員 一人)	3室 (補助職員 一人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	短期大学部 歯科衛生学科			11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体共用分 図書 243,749[32,545] 241,824[32,409] 学術雑誌 5,352[418] 5,341[418] 5,230[414] 電子ジャーナル 6[3] 6[2] 視聴覚 4,809 4,712
	歯科衛生学科	1019 (0) 577(1) (434 (0))	(21 [12])	(11 [11])	18	()	()	
	計	()	()	()	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	2968.70㎡		閱 覧 座 席 数	236		収 納 可 能 冊 数	326,139
	面 積	1164.99㎡		該 当 無 し	該 当 無 し			
(7) 体 育 館	面 積	1164.99㎡		該 当 無 し	該 当 無 し			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	4,419千円	2,670千円	630千円
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	263,902千円	7,699千円	1,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,260千円	第2年次 1,260千円	第3年次 1,260千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		京都光華女子大学短期大学部							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
歯科衛生学科	3年	70人	-	70人	短期大学士(歯科衛生学)	0.72倍	-	-	令和6年度	京都市右京区西京極葛野町38番地	令和6年度から入学定員変更(100→60)	
ライフデザイン学科	2年	60人	-	160人	短期大学士(ライフデザイン学)	0.76倍	-	-	平成18年度	同上		
短期大学全体	3 2	70 60	-	230	-	-	-	-	-	-		

大学 の 名 称		京都光華女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
看護学	4	85	-	85	短期大学士(〇〇学) 学士(看護学)	1.01	-	-	令和6	京都市石京区西京極葛野町38番地					
社会福祉専攻	4	90	-	90	学士(医療福祉学)	0.53	-	-	令和6	同上					
言語聴覚専攻	4	30	-	30	学士(医療福祉学)	0.20	-	-	令和6	同上					
作業療法専攻	4	30	-	30	学士(医療福祉学)	0.67	-	-	令和6	同上					
キャリア形成学部										同上					
キャリア形成学科	4	75	-	345	学士(教養)	0.71	-	-	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(90→75)				
健康科学部															
健康栄養学科	4	120	-	480	学士(栄養学)	0.80	-	-	平成22	同上					
管理栄養士専攻	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.88	-	-	平成22	同上					
健康スポーツ栄養専攻	4	40	34	160	学士(栄養学)	0.64	-	-	平成22	同上	令和4年4月より編入学生募集停止				
看護学科	4	85	-	255	学士(看護学)	1.12	-	-	平成23	同上	令和6年4月より学生募集停止				
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	0.70	-	-	平成26	同上					
医療福祉学科	4	60	-	180	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止				
社会福祉専攻	4	30	-	90	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止				
言語聴覚専攻	4	30	-	90	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止				
こども教育学部															
こども教育学科	4	55	-	275	学士(こども教育学)	0.61	-	-	平成27	同上	令和6年度から入学定員変更(70→55)				
人間健康学群	4	12	-	36	学士(人間健康学)	0.11	-	-	令和4	同上					
大学全体	4	497	-	1986	-	-	-	-	-	-					

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<短期大学部 歯科衛生学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	井上 富雄 (66) <令和6年4月> 歯学博士
		生命科学の基礎 生理学 口腔生理学 薬理学 歯科薬理学 臨床歯科Ⅺ(口腔機能リハビリテーション) 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
兼任	教授	飯田 征二 (63) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント) 臨床歯科Ⅶ(高齢者) 歯科放射線・臨床検査学
専	教授	飯田 征二 (63) <令和8年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム) 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	教授	福葉 裕明 (52) <令和6年4月> 博士(歯学)
		微生物学・免疫学 口腔衛生学 公衆衛生学 臨床歯科Ⅵ(小児歯科) 臨床歯科Ⅸ(障がい者) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	教授	辻野 孝 (62) <令和6年4月> 理学修士
		プレゼンテーション 外国の大学での短期研修
専	教授	頭山 高子 (64) <令和6年4月> 博士(歯学)
		基礎ゼミ 歯科衛生士概論 歯科診療補助論 歯科診療補助演習Ⅰ 歯科診療補助演習Ⅱ 歯科診療補助演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	准教授	森野 智子 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム) 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	井上 富雄 (66) <令和6年4月> 歯学博士
		生命科学の基礎 生理学 口腔生理学 薬理学 歯科薬理学 臨床歯科Ⅺ(口腔機能リハビリテーション) 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
兼任	教授	飯田 征二 (63) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント) 臨床歯科Ⅶ(高齢者) 歯科放射線・臨床検査学
専	教授	飯田 征二 (63) <令和8年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム) 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	教授	福葉 裕明 (52) <令和6年4月> 博士(歯学)
		微生物学・免疫学 口腔衛生学 公衆衛生学 臨床歯科Ⅵ(小児歯科) 臨床歯科Ⅸ(障がい者) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	教授	辻野 孝 (62) <令和6年4月> 理学修士
		基礎ゼミ プレゼンテーション データサイエンス入門 情報リテラシー
専	教授	頭山 高子 (64) <令和6年4月> 博士(歯学)
		基礎ゼミ 歯科衛生士概論 歯科診療補助論 歯科診療補助演習Ⅰ 歯科診療補助演習Ⅱ 歯科診療補助演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	准教授	森野 智子 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		臨床歯科Ⅹ(地域包括ケアシステム) 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	天羽 崇 (35) <令和6年4月> 博士(歯学)
		微生物学・免疫学 臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科診療補助論 歯科診療補助演習Ⅰ 歯科診療補助演習Ⅱ 歯科診療補助演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	講師	衣笠 瑞子 (63) <令和6年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミ 臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究 専門職の連携(基礎)
専	講師	白水 雅子 (46) <令和6年4月> 博士(口腔保健福祉学)
		基礎ゼミ 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科審美学 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	助教	尾形 祐己 (37) <令和6年4月> 修士(口腔科学)
		臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究 専門職の連携(応用)
専	助教	真田 依功子 (53) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)
		臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	天羽 崇 (35) <令和6年4月> 博士(歯学)
		微生物学・免疫学 臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科診療補助論 歯科診療補助演習Ⅰ 歯科診療補助演習Ⅱ 歯科診療補助演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究
専	講師	衣笠 瑞子 (63) <令和6年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミ 臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究 専門職の連携(基礎)
専	講師	白水 雅子 (46) <令和6年4月> 博士(口腔保健福祉学)
		基礎ゼミ 歯科保健指導論 歯科保健指導演習Ⅰ 歯科保健指導演習Ⅱ 歯科保健指導演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科審美学 歯科衛生セミナー 卒業研究 健康の科学
専	助教	尾形 祐己 (37) <令和6年4月> 修士(口腔科学)
		口腔生理学 歯科衛生士概論 臨床歯科X(地域包括ケアシステム) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究 専門職の連携(応用)
専	助教	真田 依功子 (53) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)
		口腔生理学 臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント) 歯科予防処置論 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 基礎歯科実習 臨床臨床実習Ⅰ 臨床臨床実習Ⅱ 地域歯科保健実習Ⅰ 地域歯科保健実習Ⅱ 歯科衛生セミナー 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		松本 恭子 (54) <令和6年4月> 修士(口腔科学)
		基礎ゼミ 臨床歯科 I (歯科保存・歯内療法) 歯科診療補助論 歯科診療補助演習 I 歯科診療補助演習 II 歯科診療補助演習 III 基礎歯科実習 臨床臨床実習 I 臨床臨床実習 II 地域歯科保健実習 I 地域歯科保健実習 II 歯科衛生セミナー 卒業研究
兼任 教授		加藤 千恵 (67) <令和6年4月> 修士(社会学)
		京都光華の学び
兼任 教授		河村 民平 (48) <令和6年9月> 博士(健康科学)
		専門職の連携(基礎)
兼任 教授		荃津 智子 (65) <令和6年9月> 修士(看護学)
		専門職の連携(基礎)
兼任 教授		清水 勇枝 (74) <令和7年9月> 修士(看護学)
		看護学
兼任 教授		関 道子 (56) <令和7年9月> 修士(人間科学)
		専門職の連携(応用) 摂食嚥下障害学演習
兼任 教授		森本 かえで (60) <令和8年4月> 博士(保健学)
		専門職の連携(応用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		松本 恭子 (54) <令和6年4月> 修士(口腔科学)
		基礎ゼミ 微生物学・免疫学 歯科衛生士概論 臨床歯科 I (歯科保存・歯内療法) 歯科診療補助論 歯科診療補助演習 I 歯科診療補助演習 II 歯科診療補助演習 III 基礎歯科実習 臨床臨床実習 I 臨床臨床実習 II 地域歯科保健実習 I 地域歯科保健実習 II 歯科衛生セミナー 卒業研究
兼任 教授		相場 浩和 (63) <令和6年4月> 博士(理学)
		外国の大学での短期研修
兼任 講師		加藤 千恵 (67) <令和6年4月> 修士(社会学)
		京都光華の学び
兼任 教授		荃津 智子 (65) <令和6年9月> 修士(看護学)
		健康の科学
兼任 教授		清水 勇枝 (74) <令和7年9月> 修士(看護学)
		看護学
兼任 教授		関 道子 (56) <令和7年9月> 修士(人間科学)
		専門職の連携(応用) 摂食嚥下障害学演習
兼任 教授		森本 かえで (60) <令和8年4月> 博士(保健学)
		専門職の連携(応用)
兼任 教授		土居 淳子 (57) <令和6年4月> 博士(工学)
		京都光華の学び
兼任 教授		川西 千弘 (66) <令和6年4月> 博士(教育学)
		健康の科学
兼任 教授		水道 裕久 (69) <令和6年4月> 博士(工学)
		健康の科学
兼任 教授		中平 みわ (60) <令和6年4月> 修士(看護学)
		健康の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	内田 和寿 (49) <令和6年4月> 修士(体育学)
		生涯スポーツ入門
兼任	准教授	小澤 千晶 (56) <令和6年4月> 博士(文学)
		仏教の人間観Ⅰ 京都光華の学び 仏教と医療者
兼任	准教授	河嶋 伸久 (42) <令和8年4月> 博士(栄養学)
		専門職の連携(応用)
兼任	准教授	窪内 敏子 (62) <令和6年9月> 博士(臨床福祉学)
		専門職の連携(基礎) 専門職の連携(応用)
兼任	准教授	橋口 美智留 (42) <令和6年9月> 博士(栄養学)
		栄養学 専門職の連携(基礎)
兼任	准教授	浜内 彩乃 (39) <令和6年9月> 修士(心理学)
		専門職の連携(基礎) 専門職の連携(応用)
兼任	准教授	松田 芳恵 (68) <令和8年4月> 修士(人間科学)
		包括的ヘルスケア論
兼任	講師	太田 藤子 (41) <令和6年4月> 博士(文学)
		仏教の人間観Ⅰ
兼任	講師	大橋 良浩 (49) <令和7年9月> 修士(人間・環境学)
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	木下 栄子 (57) <令和6年9月> 修士(文学)
		専門職の連携(基礎) 包括的ヘルスケア論
兼任	講師	谷本 拓郎 (40) <令和6年9月> 修士(学術)
		専門職の連携(基礎) 専門職の連携(応用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小澤 千晶 (56) <令和6年4月> 博士(文学)
		仏教の人間観Ⅰ 京都光華の学び 仏教と医療者 健康の科学
兼任	准教授	河嶋 伸久 (42) <令和8年4月> 博士(栄養学)
		専門職の連携(応用)
兼任	准教授	橋口 美智留 (42) <令和6年9月> 博士(栄養学)
		栄養学
兼任	准教授	浜内 彩乃 (39) <令和6年9月> 修士(心理学)
		専門職の連携(基礎) 専門職の連携(応用)
兼任	講師	松田 芳恵 (68) <令和8年4月> 修士(人間科学)
		包括的ヘルスケア論
兼任	准教授	森 久美子 (64) <令和6年4月> 修士(看護学)
		京都光華の学び
兼任	講師	大橋 良浩 (49) <令和7年9月> 修士(人間・環境学)
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	木下 栄子 (57) <令和6年9月> 修士(文学)
		専門職の連携(基礎) 包括的ヘルスケア論
兼任	講師	谷本 拓郎 (40) <令和6年9月> 修士(学術)
		専門職の連携(基礎) 専門職の連携(応用) 健康の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		村上 貴栄 (56) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		包括的ヘルスケア論
兼任 講師		梶 哲也 (42) <令和6年9月> 修士(仏教学)
		仏教の人間観Ⅱ
兼任 講師		朝倉 眞一 (53) <令和6年4月> 修士(農学)
		京都光華の学び
兼任 講師		Galsanjigmed Enkhzul (34) <令和7年9月> 博士(人間科学)
		国際社会とジェンダー
兼任 講師		前田 祐子 (67) <令和7年4月> 博士(英語教育学)
		医療英語
兼任 講師		小城 弥生 (56) <令和6年4月> 専門学校卒
		データサイエンス入門 情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		村上 貴栄 (56) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		包括的ヘルスケア論
兼任 講師		中木 直子 (37) <令和6年4月> 博士(生活環境学)
		専門職の連携(基礎)
兼任 講師		西川 秋子 (58) <令和6年4月> 修士(保健看護)
		専門職の連携(基礎)
兼任 講師		宮原 佑貴子 (43) <令和6年4月> 博士(学術)
		健康の科学
兼任 講師		呉 鴻 (49) <令和6年4月> 修士(芸術学)
		健康の科学
兼任 助教		英 香里 (42) <令和6年4月> 博士(小児発達学)
		専門職の連携(基礎)
兼任 助教		西谷 美智子 (50) <令和6年4月> 博士(学術)
		健康の科学
兼任 講師		梶 哲也 (42) <令和6年9月> 修士(仏教学)
		仏教の人間観Ⅱ
兼任 講師		朝倉 眞一 (53) <令和6年4月> 修士(農学)
		京都光華の学び
兼任 講師		Galsanjigmed Enkhzul (34) <令和7年9月> 博士(人間科学)
		国際社会とジェンダー
兼任 講師		前田 祐子 (67) <令和7年4月> 博士(英語教育学)
		医療英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	玉木 亜紀子 (59) <令和6年4月> 学士(家政学)
		データサイエンス入門 情報リテラシー
兼任	講師	臼井 卓也 (42) <令和7年9月> 修士(心理臨床学)
		カウンセリング理論
兼任	講師	猪澤 歩 (41) <令和7年4月> 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	高橋 岳大 (49) <令和8年4月> 学士(社会学)
		包括的ヘルスケア論
兼任	講師	村上 成美 (62) <令和8年4月> 専門学校卒
		包括的ヘルスケア論
兼任	講師	馬場 均 (59) <令和7年4月> 博士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	巨島 文子 (61) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	泉 和男 (68) <令和7年4月> 修士(社会福祉学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	富田 聡 (47) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	横関 恵美 (44) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	佐藤 玲 (47) <令和7年9月> 専門学校
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	徳島 大樹 (48) <令和7年9月> 学士(教養)
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	萩本 房子 (64) <令和7年4月> 学士(文学)
		伝統文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	臼井 卓也 (42) <令和7年9月> 修士(心理臨床学)
		カウンセリング理論
兼任	講師	猪澤 歩 (41) <令和7年4月> 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	高橋 岳大 (49) <令和8年4月> 学士(社会学)
		包括的ヘルスケア論
兼任	講師	村上 成美 (62) <令和8年4月> 専門学校卒
		包括的ヘルスケア論
兼任	講師	馬場 均 (59) <令和7年4月> 博士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	巨島 文子 (61) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	泉 和男 (68) <令和7年4月> 修士(社会福祉学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	富田 聡 (47) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	横関 恵美 (44) <令和7年4月> 学士(医学)
		摂食嚥下障害学
兼任	講師	佐藤 玲 (47) <令和7年9月> 専門学校
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	徳島 大樹 (48) <令和7年9月> 学士(教養)
		摂食嚥下障害学演習
兼任	講師	萩本 房子 (64) <令和7年4月> 学士(文学)
		伝統文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		高林 由起子 (59) <令和7年4月> 学士(文学)
		伝統文化
兼任 講師		中野 剛志 (46) <令和7年4月> 学士(法学)
		伝統文化
兼任 講師		高林 佑丞 (38) <令和7年4月> 学士(総合政策学)
		伝統文化
兼任 講師		坂口 雅彦 (68) <令和7年4月> 博士(経営学)
		伝統文化
兼任 講師		藤田 佳代 (60) <令和7年4月> 学士(教育学)
		伝統文化
兼任 講師		澤井 律之 (67) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任 講師		高橋 学 (54) <令和6年4月> 修士(外国語学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任 講師		久米 雅 (45) <令和6年4月> 博士(体育学)
		健康の科学
兼任 講師		千田 真喜子 (63) <令和6年4月> 修士(家政学)
		食生活と健康
兼任 講師		林 研 (55) <令和6年9月> 博士(文学)
		くらしのなかの宗教
兼任 講師		田中 はるみ (66) <令和6年4月> 短期大学士
		メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用 ドクターズクラークⅠ ドクターズクラークⅡ
兼任 講師		附 育代 (64) <令和6年4月> 学士(教養学)
		調剤報酬請求事務 ケアクラーク
兼任 講師		佐藤 文彦 (50) <令和6年4月> 博士(歯学)
		解剖学・組織発生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		高林 由起子 (59) <令和7年4月> 学士(文学)
		伝統文化
兼任 講師		中野 剛志 (46) <令和7年4月> 学士(法学)
		伝統文化
兼任 講師		高林 佑丞 (38) <令和7年4月> 学士(総合政策学)
		伝統文化
兼任 講師		坂口 雅彦 (68) <令和7年4月> 博士(経営学)
		伝統文化
兼任 講師		藤田 佳代 (60) <令和7年4月> 学士(教育学)
		伝統文化
兼任 講師		澤井 律之 (67) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任 講師		高橋 学 (54) <令和6年4月> 修士(外国語学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任 講師		千田 真喜子 (63) <令和6年4月> 修士(家政学)
		食生活と健康
兼任 講師		田中 はるみ (66) <令和6年4月> 短期大学士
		メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用 ドクターズクラークⅠ ドクターズクラークⅡ
兼任 講師		附 育代 (64) <令和6年4月> 学士(教養学)
		調剤報酬請求事務 ケアクラーク
兼任 講師		佐藤 文彦 (50) <令和6年4月> 博士(歯学)
		解剖学・組織発生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		臨坂 聡 (68) <令和6年4月> 歯学博士
		口腔解剖学
兼任 講師		波多 賢二 (51) <令和6年9月> 博士(歯学)
		生化学・口腔生化学
兼任 講師		市岡 宏顕 (40) <令和6年9月> 博士(医学)
		病理学・口腔病理学
兼任 講師		木村 聡子 (42) <令和6年9月> 博士(医学)
		病理学・口腔病理学
兼任 講師		坂東 李紗 (33) <令和6年9月> 博士(医学)
		病理学・口腔病理学
兼任 講師		柳田 学 (56) <令和8年9月> 博士(歯学)
		歯科医療と関係法規
兼任 講師		松井 大輔 (44) <令和8年9月> 博士(医学)
		保健情報統計学
兼任 講師		河原 敬 (51) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)
兼任 講師		吉岡 靖介 (44) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)
兼任 講師		今里 聡 (63) <令和7年9月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)
兼任 講師		山口 哲 (46) <令和7年9月> 博士(工学)
		臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)
兼任 講師		池邊 一典 (62) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅲ(歯科補綴)
兼任 講師		小室 暁 (53) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		臨坂 聡 (68) <令和6年4月> 歯学博士
		口腔解剖学
兼任 講師		波多 賢二 (51) <令和6年9月> 博士(歯学)
		生化学・口腔生化学
兼任 講師		市岡 宏顕 (40) <令和6年9月> 博士(医学)
		病理学・口腔病理学
兼任 講師		
兼任 講師		坂東 李紗 (33) <令和6年9月> 博士(医学)
		病理学・口腔病理学
兼任 講師		柳田 学 (56) <令和8年9月> 博士(歯学)
		歯科医療と関係法規
兼任 講師		松井 大輔 (44) <令和8年9月> 博士(医学)
		保健情報統計学
兼任 講師		河原 敬 (51) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)
兼任 講師		吉岡 靖介 (44) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅰ(歯科保存・歯内療法)
兼任 講師		今里 聡 (63) <令和7年9月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)
兼任 講師		山口 哲 (46) <令和7年9月> 博士(工学)
		臨床歯科Ⅱ(歯科材料学)
兼任 講師		池邊 一典 (62) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅲ(歯科補綴)
兼任 講師		小室 暁 (53) <令和7年4月> 博士(歯学)
		臨床歯科Ⅳ(口腔外科・インプラント)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- 【専任】
- ・辻野孝教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「基礎ゼミ」「データサイエンス入門」「情報リテラシー」を追加
担当者変更に伴い、担当科目「外国の大学での短期研修」を削除
 - ・白水雅子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・尾形祐己助教 教育効果向上の理由に伴い、「口腔生理学」「歯科衛生士概論」を追加
 - ・真田依功子助教 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「口腔生理学」を追加
 - ・松本恭子助教 教育効果向上の理由に伴い、「微生物学・免疫学」「歯科衛生士概論」を追加

- 【兼任】
- ・相場浩和教授 担当者変更に伴い、担当科目「外国の大学での短期研修」を追加

- 【兼任】
- ・加藤千恵教授 定年退職に伴い、「兼任教授」から「兼任講師」に変更
 - ・河村民平教授 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
 - ・荃津智子教授 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・土居淳子教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」を追加
 - ・川西千弘教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・水道裕久教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・中平みわ教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・内田和寿准教授 退職に伴い、担当科目「生涯スポーツ入門」を削除
 - ・小澤千晶准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・窪内敏子准教授 退職に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」「専門職の連携（応用）」を削除
 - ・橋口美智留准教授 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
 - ・松田芳恵准教授 定年退職に伴い、「兼任准教授」から「兼任講師」に変更
 - ・森久美子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」を追加
 - ・太田路子講師 担当者変更に伴い、担当科目「仏教の人間観Ⅰ」を削除
 - ・谷本拓郎講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・中木直子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
 - ・西川秋子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
 - ・宮原佑貞子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・呉鴻講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・英香里講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
 - ・西谷美智子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・小城弥生講師 担当者変更に伴い、担当科目「データサイエンス入門」「情報リテラシー」を削除
 - ・玉木亜紀子講師 担当者変更に伴い、担当科目「データサイエンス入門」「情報リテラシー」を削除
 - ・久米雅講師 担当者変更に伴い、担当科目「健康の科学」を削除
 - ・林研講師 担当者変更に伴い、担当科目「くらしのなかの宗教」を削除
 - ・木村聡子講師 時間割調整に伴い、担当科目「病理学・口腔病理学」を削除
 - ・山本潤講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」を追加
 - ・劉梅玲講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「中国語Ⅱ」を追加
 - ・韓亨模講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」を追加
 - ・太田慶子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
 - ・渡邊為彦講師 担当者変更に伴い、担当科目「生涯スポーツ入門」を追加
 - ・狭間芳樹講師 担当者変更に伴い、担当科目「くらしのなかの宗教」を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
5	1	3	3	12	0	4	1	3	3	11	0
(4)	(1)	(3)	(3)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
5	1	3	3	12	0	5	1	3	3	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{11} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし										
合計			後任補充状況の集計									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任がなかったため、該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和6年)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見1への対応において、ディプロマ・ポリシー④に定める「職業倫理観と責任感」を学生に修得させるため、「臨床隣地実習Ⅱ」の内容を一部見直したことが説明されているが、「審査意見への対応を記載した書類(6月)(資料)」資料2のカリキュラムチャートでは同科目がディプロマ・ポリシー③に対応した科目とされている。また、同書類の審査意見2への対応において、ディプロマ・ポリシー②に対応する科目である「生命科学の基礎」や「歯科診療補助研修Ⅱ」の内容についても一部見直しを行ったとあるが、カリキュラムチャートでは、「生命科学の基礎」はディプロマ・ポリシー③に、「歯科診療補助演習Ⅱ」はディプロマ・ポリシー①に対応した科目とされているなど、ディプロマ・ポリシーと科目の対応の説明に一部不整合が見られる。改めてディプロマ・ポリシーと科目の対応を整理するとともに、学生が各授業科目の目的等をあらかじめ理解し、本学科が目指す各授業科目の教育効果を達成する観点からも、オリエンテーションやガイダンス、シラバスの記載内容の工夫や周知等を通じて、これらの関係を学生が適切に理解できるようにすること。</p>	<p>ディプロマ・ポリシーと科目の対応について整理し、カリキュラムマップ及びカリキュラムフローチャートの修正を行った。</p>	<p>履行済</p>

認可時 (令和6年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項	教育内容の充実及び高校生に対し、学びの理解度が高まる広報活動を展開・強化し、定員充足に向けた改善を図っている。	履行中	今後も、教育内容の充実及び高校生に対し、学びの理解度が高まる広報活動を展開・強化を継続的に実施する。また、募集戦略をスクラップアンドビルドすることにより、定員充足に向けた改善を図る計画である。
認可時 (令和6年)	・専任教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目については、確実に教員を充足させること。	【届出】 遵守事項	2023年12月のAO教員審査において、全専任教員が担当するすべての授業科目について、「可」の判定を受けた。	履行済	
認可時 (令和6年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【届出】 遵守事項		履行中	完成年度までに定年を超える教員が5名いるが、本学の教職員定年規程第4条に基づいて、定年退職者の再雇用を行う、若しくは退職となった際には、その後任人事により教員を補充し、年齢構成に十分配慮し、教育研究活動が継続して運営できる体制を維持していく計画である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<短期大学部 歯科衛生学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>毎月1回定例開催（8月を除く）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔FD委員会〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学運営会議から指示の事項 2. 教育内容・方法に関する事項 3. FD研修の企画・実施に関する事項 4. FDの関係機関との交流に関する事項 5. その他委員会が必要と認めた事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケート（年2回実施） ・ FD研修会（年2回） ・ 学科内FD活動報告 <p>b 実施方法</p> <p>〔授業アンケート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての科目について、Web上で学生個人に回答をしてもらう。 <p>〔FD研修会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全専任教員を対象とし、外部講師を招いたFD研修会または、学内の実践報告を毎年行っている。 <p>〔学科内FD活動報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学科が1年間に行ったFD活動をFD委員会で報告をし、各学科間で情報共有し、各学科のFD活動の改善を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〔授業アンケート〕

- ・前期、後期で各1回実施。学生の回答率は2023年度前期69.8%、後期45.7%。2022年度前期62.1%、後期52.8%。必修授業内での評価実施の周知、実施時期・期間の検討など、回答率向上のための施策を講じている。

〔FD研修会〕

- ・FD研修会の参加率は100%（オンライン開催による参加およびオンデマンド視聴数より）。毎年度、各学科から研修テーマを募り、外部講師の招聘や学内の実践報告を行い、全学の教育改善に努めている。

〔学科内FD活動報告〕

- ・年度当初に年間のFD活動の目標等を設定し、年度末に各学科の1年間のFD活動をFD委員会で報告している。FD委員会で報告された内容は、各学科会議で学科所属教員全員に共有している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔授業アンケート〕

- ・評価結果を教員個人にフィードバックし、授業期間中に授業担当教員から学生へ結果をフィードバックするとともに授業改善を行っている。また、学科内でも結果を共有し、学科をあげて授業改善を行っている。

〔FD研修会・学科内FD活動報告〕

- ・研修内容および各学科の年間活動報告を各学科へ持ち帰り、各学科において、学科FDを行っている。他学科や他の教員の工夫等を聞き、学科全体および教員個人の教育改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期に各1回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記のとおり。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

わが国の社会構造及び人口構造の変化に伴い、歯科衛生士の業務は従来の歯科医院における予防処置や診療補助などに加え、在宅での訪問診療や周術期の患者に対する口腔ケアのニーズが高まっている。上記のような社会的ニーズがあることに比して、近畿地区に歯科衛生学科を有する大学は5校、短期大学は2校のみと少ない。特に本学科が開設予定の京都府には、歯科衛生士を養成する大学や短期大学は1校もない。高等教育機関での歯科衛生士の養成が行われていない京都府において、本学が目指す歯科衛生士の育成は京都府をはじめとした地域での歯科衛生士の質を高め、供給状況も改善することに大きく貢献できると言える。以上のことから、令和6年度に本学短期大学部において歯科衛生学科を新たに設置した。

入学者確保の状況については、初年度は設置認可後から学生募集を開始したこともあり、歯科衛生士を目指す生徒の多くが専門学校に進路決定している状況下からの募集活動となり、定員未充足（入学定員充足率72%）となった。2025年度学生募集に向けて、高校訪問や進学ガイダンス、高大接続といった対面での募集活動を中心に強化し、京都滋賀エリアの大学・短大で初の歯科衛生士養成校として、本学科の教育内容について、専門学校との違いや本学短大ならではのメリットをあらゆる手段で伝え、高校教員や高校生への理解促進、進学意欲の醸成を図り入学者を確保していく。さらに、本学の学びの特色・魅力を伝えていくうえで有効な手段を教職協働で検討し、PDCAサイクルを回していくことで入学定員充足に向け募集活動に尽力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年4月6日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和11年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [令和6年度設置のため]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。